

# 東洋思想文化

「グシュメーシユヴァラ・ジョーティルリంగాの出現」 —『シヴァプラーナ』第四卷「コーティルドラサンヒター」 第三章和訳—	沼田 一郎 (70)
スイク教聖典編纂者グルルアルジャンの生涯 —歴史と伝承のなかで—	山口しのぶ (85)
ヴァイディヤナーテーシユヴァラ・ ジョーティルリంగా縁起譚	宮本 久義 (114)
聖徳太子慧思後身説の成立について	伊吹 敦 (1)
<i>ṛṇādāna</i> — <i>ṛṇa-adāna</i> (債務の不履行) or <i>ṛṇa-adāna</i> (債権の回収)	
橋本 泰元 (103)	

東洋大学文学部紀要第67集

東洋思想文化学科篇

I



東洋思想文化

(東洋大学文学部紀要第六十七集)

東洋思想文化学科篇 I (平成二十六年三月)

# EASTERN PHILOSOPHY AND CULTURE

Bulletin of the Faculty of Letters

Toyo University

No. 67

March, 2014

Series of

EASTERN PHILOSOPHY AND CULTURE

I

## CONTENTS

IBUKI, Atsushi : The Formation of Prince Shotoku's Biography as the Reincarnation of Nanyue Huisi .....	(1)
NUMATA, Ichiro : <i>ṛṇādāna</i> : <i>ṛṇa-adāna</i> or <i>ṛṇa-ādāna</i> ? .....	(70)
YAMAGUCHI, Shinobu : Appearance of Ghuśmeśvarajyotirlinga, A Japanese Translation of <i>Śivapurāṇa</i> , Vol. 4, Ch.33 .....	(85)
HASHIMOTO, Taigen : The Life of Guru Arjan, the Compiler of the Sikhs' Scripture : in the History and the Tradition .....	(103)
MIYAMOTO, Hisayoshi : Vaidyanātha-jyotirlinga-māhātmya : A Japanese translation of <i>Śivapurāṇa</i> , Vol. 4, Ch. 28 .....	(114)

Published by

TOYO UNIVERSITY

Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

東洋思想文化 第一号（東洋大学文学部紀要 東洋思想文化学科篇Ⅰ 第六十七集）抜刷  
平成二十六年（二〇一四）三月 発行

# 聖徳太子慧思後身説の成立について

伊 吹

敦

*ṛṇādāna*

— ṛṇa-adāna (債務の不履行) or

ṛṇa-ādāna (債権の回収)

沼田 一郎

「グシュメーシュヴァラ・  
ジョーティルリングの出現」

—『シヴァ・プラーナ』第4巻

「コーティ・ルドラ・サンヒター」第33章和訳—

山 口 しのぶ

スイク教聖典編纂者  
グル＝アルジャンの生涯  
—歴史と伝承のなかで—

橋 本 泰 元

ヴァイディヤナーテーシュヴァラ・  
ジョーティルリンガ縁起譚

宮本久義

## 研究室報告

- ① 本年度は、新入生歓迎行事として四月二十一日に「新入生研修旅行」を行った。饒阿寺を参観し、足利学校を見学した。新入生には大いに好評で、学生相互あるいは教員との交流を深めることができた。関係各位には厚く御礼申し上げます。
- ② 本年度も六月一日に「東洋大学文学部伝統文化講座」の一環として、東洋思想文化学科主催、東洋大学仏教青年会協力にて、真言宗豊山派迦陵頻伽聲明研究会による「聲明公演…自心の源底を観る〜大曼荼羅供」を開催した。出演者の皆様には厚く御礼申し上げます。
- ③ 本年度、特別講義を拝聴した先生は左記の通りである。  
「私の維摩經研究」高橋尚夫・大正大学教授、二〇一三年十一月二十九日、二時限、文学部会議室（六号館四階）  
「空・智慧（Wisdom and Emptiness）」アジャ・リンポチェ（Ajia Rinpoche, Tibetan Mongolian Buddhist Cultural Center, Director）二〇一三年六月二十一日、四時限、六三〇六教室
- ④ 本年度、大学院（インド哲学仏教学専攻）の公開研究発表会を春学期（六月二十六日）と秋学期（十一月二十七日）に開催した。春学期は、林明音（M2）、須藤美喜子（M2）、園田沙弥佳（D3）、ウルジージャルガル（D3）、向慧（研究生）、山崎一穂（日本学術振興会特別研究員）による研究発表、ならびに伊藤頼人、今村文美、グステイ・アユ・プスパワティ、崎山忠道、田口なみ、越後屋正行の六名の大学院新入生研究計画発表があった。秋学期は堤博枝（M2）、尾上海（M2）、板敷真純（M2）、藤井明（M2）、井みお（M2）、山崎一穂（日本学術振興会特別研究員）の研究発表があった。
- ⑤ 本年度のティーチングアシスタントは、ウルジージャルガル、尾上海、小島朋子、澤田容子、播本崇史、藤井明、馬雪峰の各氏が担当した。
- ⑥ 本年度の卒業論文・制作の提出者は、インド哲学科ではI部が四六名、II部が六名であり、中国哲学文学科では四七名、大学院の修士論文提出者はインド哲学文学専攻では八名、中国哲学専攻では一名であった。本年度の優秀論文に対する褒賞は左記の通りである。
  - ・ 校友会奨学基金
    - 学部（インド哲学科） 梅田愛子（I部）、佐々木麻知（II部）
    - 学部（中国哲学文学科） 木下なつみ
  - ・ 大学院（インド哲学仏教学専攻） 堤博枝
  - ・ 勸学奨学基金
    - 学部（インド哲学科） 杉崎希望（I部）、針貝京子（II部）
    - 学部（中国哲学文学科） 松岡瑞季
  - ・ 田村芳朗奨学基金

学部 小暮咲野（I部）、住友高作（I部）、  
大学院 須藤美喜子

⑦ なお学科改組により二〇一三年度より東洋思想文化学科が  
スタートしたことにもない、インド哲学科の『東洋学論叢』  
と中国哲学文学科の『東洋大学中国哲学文学科紀要』とを合  
併して、本号より『東洋思想文化』と改称する。



二〇一三年度業績（二〇一三年一月～十二月）

伊吹 敦

○研究活動

〈論文〉

「道璿は天台教學に詳しくあったか？」（単著、『印度学佛教学研究』六二卷二号、二〇一三年三月二十日、一九三～二〇〇頁）

「初期の禪宗が日本の佛教に與えた影響―大安寺道璿を中心に」〔『東洋大学文学部紀要』第六六号（インド哲学科篇第三八号）、二〇一三年三月三十日、二六～五二頁）

「禪宗の成立と仏性觀の変容」〔『東アジア仏教学術論集』創刊号、二〇一三年三月三十日、一二七～一五五頁）

「日本古文献所見中国早期禪宗―以大安寺道璿所撰『集注梵網經』为中心」〔『世界漢学』第一二号、中国人民大学、二〇一三年二月、一一五～一二五頁）

「鑑真是來日以前に聖德太子慧思後身説を知っていたか？」〔『印度学佛教学研究』六二卷一号、二〇一三年二月二十日、一一～一九頁）

〈その他〉

「モンゴルの中国支配と禪（下之上） 要説・中国禅思想史 三六」（『禅文化』二二九、二〇一三年七月二十五日、八九～九八頁）

「モンゴルの中国支配と禪（下之下） 要説・中国禅思想史 三七」（『禅文化』二三〇、二〇一三年十月二十五日、六二～六九頁）

六九頁）

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本佛教学会（理事）／日・韓・中国際仏教学術大会（幹事・編集委員）／東アジア仏教研究会（役員）／日本印度学仏教学会（会員）／早稲田大学東洋哲学会（会員）／財団法人東方学会（会員）

学会発表等

「戒律と禪宗―小乗戒と菩薩戒、都市仏教と山林仏教、国家と宗教」〔二〇一三年八月二十一日、仏教戒律文献与伝播歴史国際研討会、永福寺、中国・杭州）

「聖德太子慧思後身説の誕生」〔二〇一三年八月三十一日、日本印度学仏教学会第六四回學術大会、高根県民会館）

「研究プロジェクトへの参加」

東洋大学東洋学研究所プロジェクト「仏教思想に見る日本・中国・韓国の共通性と差異」研究代表者

東洋大学国際哲学研究センター（センター長・村上勝三「東洋大学」第一ユニット研究員

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部…インド学仏教学演習⑦（I部、通年）

中国仏教のあゆみ A (I・II部、春学期)

中国仏教のあゆみ B (I・II部、秋学期)

仏教文献を読む A (I部、春学期)

仏教文献を読む B (I部、秋学期)

禅の思想 (II部、春学期)

東洋思想文化への誘い A (I部・II部、春学期) 二回  
担当

「中国仏教入門」(六月十五日、六時限/六月二十六日、一時限)

東洋思想文化への誘い B (I部・II部、秋学期) 二回  
担当

「禅思想入門」(十一月十三日、一時限/十一月十六日、六時限)

東洋の身体論 (I・II部乗り入れ、春学期) 三回担当

「はじめに」(四月十日、七時限)

「修行と悟り―禅は心と体をどう見るか」(六月五日、七時限)

「まとめ」(七月十七日、七時限)

近代化と東洋 (I・II部乗り入れ、秋学期) 三回担当

「はじめに」(九月二十五日、七時限)

「近代における禅の再発見」(十二月十八日、七時限)

「まとめ」(一月十五日、七時限)

宗教をめぐる諸問題 A (I・II部乗り入れ、春学期)

二回担当

「中国仏教とは何か」(七月六日、六時限)

「中国仏教における聖者」(七月十三日、六時限)

総合ⅧB1 (校友会寄附講座、I・II部乗り入れ、秋学期) 一回担当

「哲学館の後継者たちの活躍―境野黄洋、高嶋米峰など」(十月二十六日、五時限)

全学総合IA1 (I部、春学期) 一回担当

「世界と自己」―「十牛図」に見る禅宗における自己探しの旅」(六月六日、五時限)

大学院：中国仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅳ(前期課程)

仏教学特殊研究Ⅲ・仏教学研究指導Ⅳ(後期課程)

〈学外担当科目〉

大学院：「東洋哲学特殊問題3」(春学期、早稲田大学)

「東洋哲学特殊問題4」(秋学期、早稲田大学)

○大学管理運営活動・研究員等

文学部内自己点検・評価委員/東洋大学東洋学研究所研究員  
/東洋大学国際哲学研究センター研究員

○社会的活動

公開講座「修行と悟り―禅は「こころ」と「からだ」をどうみるか」(東洋大学生涯学習センター公開講座・エクステンション学習講座B)

「東洋思想への誘い―東洋思想・文化における「こころ」と「からだ」―」(十一月十六日、白山キャンパス)

講演「最澄の禪相承とその意義」(二〇一三年十一月二十二日、

金剛大学校、韓国・忠清南道・論山市)

(公益財団法人) 中村元東方研究所兼任研究員

岩井 昌悟

○研究活動

〈論文〉

「井上田了の〈宇宙万物に対する徳義〉—田了の環境資源に対する態度」(単著、『エコ・フィロソフィ』研究第七号別冊 シンポジウム・研究会編)、二〇一三年三月二十五日、三一～三八頁)

「チュンダの施食—*Paṭhanasambodhi* 第一四章 *Paribhāna-kāṇḍī* 訳注研究(3)」(単著、『東洋学論叢』第三八号(東洋大学文学部紀要)第六六集)、二〇一三年三月三十日、九一～一二八頁)

「菩薩の信(*saddhā*)について—佛もまた過去佛の佛弟子か」(単著、『日本佛教学會年報』第七八号、二〇一三年八月三十日、一二五～一四〇頁)

〈学会発表等〉

「井上田了の〈宇宙万物に対する徳義〉」(公開シンポジウム「田了×熊楠、近代日本のエコ・フィロソフィ」にて報告、パネルディスカッションにも参加) 二〇一三年二月二十四日、白山キャンパス

学会参加

日本印度学仏教学会第六四回学術大会(鳥根県民会館)に参加、

二〇一三年八月三十一日～九月一日

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会(会員) / 日本宗教学会(会員) / 日本佛

教学会(会員) / 仏教思想学会(会員) / パーリ学仏教文化

学会(普通会员)、日本チベット学会(会員)

〈研究プロジェクトへの参加〉

「東洋大学東洋学研究所プロジェクト…東アジアにおける仏教の受容と変容」の研究分担者

東洋大学国際哲学研究センター(センター長・村上勝三「東洋大学」第一ユニット研究員

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・インド学仏教学演習⑤(Ⅰ部)

インド仏教のあゆみ A・B(Ⅰ・Ⅱ部)

初期仏教の思想(Ⅰ部)

レポート・論文制作の技法 A(Ⅰ部)

宗教をめぐる諸問題 A・B(Ⅰ・Ⅱ部 乗り入れ) コー

ディネーター

「開講にあたっておよび初期仏教とは何か」(四月十三日、六時限)

「初期仏教における聖者」(四月二十七日、六時限)

東洋思想文化への誘いA（I部・II部、春学期）二回  
担当

「初期仏教入門―ニカーヤ・阿含・律」（五月八日、  
一時限／五月十八日、六時限）

東洋思想文化への誘いB（I部・II部、秋学期）一回  
担当

「初期仏教入門―アピタルマ」（十月十二日、六時限）  
東洋の身体論（I・II部乗り入れ）一回担当

「仏教の身体論」（五月十五日、七時限）  
総合ⅧB1（校友会寄附講座、I・II部乗り入れ、秋  
学期）一回担当

「日本をどう考えるのか―井上円了の忠と孝」（五月  
二十五日、五時限）

全校総合IA一回担当

「初期仏教における正義と自由」（七月十一日、五時  
限）

○大学管理運営活動・研究員等

白山図書館運営委員会委員／図書館長選考委員会委員／情報機  
器運営委員会委員／東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員  
東洋大学国際哲学研究センター運営委員・研究員・第一ユニツ  
卜長

○社会的活動

公開講座「初期仏教におけるところとからだ」（東洋大学生涯

学習センター公開講座・エクステンション学習講座B（東洋  
思想への誘い―東洋思想・文化における「ところ」と「から  
だ」―）、二〇一三年五月十八日、東洋大学白山キャンパス

川崎 ミチコ

○研究活動

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

仏教史学会（会員）・日本中国学会（会員）・道教学会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・中国文学特講Ⅱ

中国文学演習Ⅲ①

中国文献読解法

中国文献学概論

レポート・論文制作の技法

中国の古典（『史記』・『孟子』）

東洋思想文化への誘いA（I部・II部、春学期）二回  
担当

「敦煌学入門―敦煌文献とは何?」（五月二十九日、  
一時限／五月二十五日、六時限）

東洋思想文化への誘いB（I部・II部、秋学期）二回  
担当

「敦煌学入門2―十王思想文献を中心に」(十一月六日、一時限/十一月九日、六時限)

○大学管理運営活動

全学カリキュラム検討委員会委員

○社会的活動

公開講座「中国の思想と文化―中国人の死生観―」(東洋大学生涯学習センター公開講座・エクステンション学習講座B「東アジア」へのまなざし―その思想と文化―)、二〇一三年六月二十二日、東洋大学白山キャンパス)

出張講義

「敦煌文献に見る十王思想文献について」(神奈川県立住吉高等学校、二〇一三年五月二十三日)

「敦煌文献について」(長野県岡谷南高等学校、二〇一三年九月十九日)

坂井 多穂子

○研究活動

〈論文〉

「楊萬里の『喜雨』詩について」、『東洋大学中国哲学文学科紀要』第二一号 八九〜一〇九頁 吉田公平教授・山岡景行教授退官記念号 二〇一三年三月十日)

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会(大会委員会委員) / 中唐文学会(会員) / 宋代詩文研究会(会員) / 白山中国学会(会計担当)

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学国際哲学研究センター(センター長・村上勝三「東洋大学」第二ユニット研究員)

東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ(TIEPh) 自然観探求ユニット研究員

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：基礎中国語A・B (I部・II部)

中国語IC・ID

中国文学演習II

中国文学演習III

中国文学研究法

中国学研究法A・B (I部・II部)

東洋思想文化への誘いA (I部・II部、春学期) 一回担当

担当

「唐代文学入門―ロマンチストの李白とリアリスト

の杜甫」(九月二十五日、一時限)

東洋思想文化への誘いB (I部・II部、秋学期) 二回担当

担当

「宋代文学入門―楽天家の蘇軾と愛妻家の陸游」

(十二月十一日、一限/十二月十四日、六時限)

東洋の身体論（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）一回担当

「中国文学と身体―纏足にみる女性観」（四月二十四日、七時限）

大学院：中国哲学研究指導Ⅰ・中国文学特論（前期課程）

中国哲学特殊研究Ⅳ（後期課程）

○大学管理運営活動・研究員等

東洋大学東洋学研究所研究員／東洋大学アジア文化研究所研究員／東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ（TEBPi）研究員／東洋大学国際哲学研究センター運営委員・研究員

○社会的活動

公開講座「纏足にみる女性観」（東洋大学生涯学習センター）  
公開講座・エクステンション学習講座B（東洋思想への誘い―東洋思想・文化における「こころ」と「からだ」―）、  
二〇一三年十二月二十一日、白山キャンパス

小路口 聡

○研究活動

〈論文〉

「宋明心学における「現在」主義の哲学」『哲学資源としての中国思想』、研文出版、二〇一三年三月

「天地を生み出す良知について」『東洋大学中国哲学文学科紀要』

通巻一九号、二〇一三年三月

〈翻訳〉

「王畿『龍溪王先生会語』 訳注 其十三」「白山中国学」、通巻一九号、二〇一三年一月、\*吉田公平・早坂俊廣・鶴成久章・内田健太・本多道隆共著

「王畿『龍溪王先生会語』 訳注 其十四」「東洋古典学研究」第

三五集、二〇一三年五月、\*吉田公平・早坂俊廣・鶴成久章・

内田健太・本多道隆と共著

「王畿『龍溪王先生会語』 訳注 其十五」「東洋古典学研究」第

三六集、二〇一三年一〇月、\*吉田公平・早坂俊廣・鶴成久

章・内田健太・本多道隆と共著

〈学芸発表〉

「儒家倫理的現代意義―支撑共生社会的〈関愛（care）倫理〉」、  
国際學術研討會「跨文化視域之儒家倫理研究：經典、制度與

社會生活」、復旦大學、二〇一三年十二月二十二日

〈学芸活動〉

所屬学会ならびに役職  
日本中国学会（会員）、白山中国学会（理事・編集委員）、国

際井上田了学会（理事）

〈研究プロジェクトへの参加〉

「王畿の良知心学と明末の講学活動に関する発展的研究」（文科  
省科学研究費「基盤研究（C）」研究代表者

東洋大学国際哲学研究センター（センター長・村上勝三「東洋

大学」第一ユニット研究員・運営委員

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・中国哲学演習Ⅰ①（Ⅰ部）

中国学概論（Ⅰ部）

中国哲学研究法（Ⅰ部）

中国哲学特講（Ⅰ部）

東洋思想文化への誘いA（Ⅰ部・Ⅱ部、春学期）Ⅰ部

コーディネート

「ガイダンス説明 コース説明（中国）」（四月十日、

一時限／四月二十日六時限）

「儒教思想入門―人間の本性は善か、悪か？」（六月

十二日、一時限／六月二十二日、六時限）

東洋思想文化への誘いB（Ⅰ部・Ⅱ部、秋学期）Ⅰ部

コーディネート

「ガイダンス」（九月二十五日、一時限）

「朱子学入門―聖人、学んで至るべし」（十一月二十

日、一時限／十一月二十三日、六時限）

東洋の身体論（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）一回担当

「儒教の身体論」（六月十二日、七時限）

大学院・中国哲学特論Ⅲ（博士前期課程）

中国哲学演習Ⅱ（博士前期課程）

中国哲学研究指導Ⅲ（博士前期課程）

中国哲学特殊研究Ⅲ（博士後期課程）

中国哲学研究指導Ⅲ（博士後期課程）

○大学管理運営活動・研究員等

第一部東洋思想文化学科長／教職課程運営委員／東洋大学東洋

学研究所研究員／東洋大学国際哲学研究センター研究員

○社会的活動

公開講座「宋明儒学思想における心と身」（東洋大学生涯学習

センター公開講座・エクステンション学習講座B〈東洋思想

への誘い―東洋思想・文化における「こころ」と「からだ」―、

二〇一三年十二月十四日、東洋大学白山キャンパス）

竹村 牧男

○研究活動

〈著書〉

『仏教と儒教―日本人の心を形成してきたもの―』（竹村牧

男・高島元洋共著）、一般財団法人 放送大学教育振興会、

二〇一三年三月二十日、「まえがき」および全十五章中一、

六章を執筆、一〇一―一〇六頁（本文二五七頁）

『大乘仏教のこころ』、大東出版社、二〇一三年九月五日、七、

二六九頁

〈論文〉

『親鸞と「大乘起信論」―報身・報土の問題を中心に―』、『東洋

の思想と宗教』第三〇号、早稲田大学東洋哲学会、二〇一三

年三月二十五日、七五―九四頁

「大乘起信論」の人間観」、「東アジア仏教学術論集」韓・

中・日国際仏教学術大会論文集」、東洋大学東洋学研究所

二〇一三年三月三十日、一〇一六頁

〈その他〉

「自然との共生と日本の思想」、「ライフサイエンス」第五二号

(三九巻第一号)、公益社団法人 生命科学振興会、二〇一三

年一月、二二〇四七頁

「書写山の一遍上人」(東洋大学文化講演会「姫路、二〇一〇年

一〇月十六日、姫路市市民会館における講演筆録)、『東洋学

論叢」第三八号(東洋大学文学部紀要 インド哲学科篇 第

六六集)、二〇一三年三月、一〇二五頁

「エコ・フィロソフィを考える―東日本大震災をふまえて―」

『聖徳大学心理教育相談所紀要』第一〇号、聖徳大学心理教

育研究所、二〇一三年三月二十一日、三一〇四〇頁

「井上円了の教育理念を継承して―「哲学塾」への挑戦、在

家仏教」二〇一三年七月号巻頭言、二〇一三年七月一日発行、

〇〇一頁

「仏教と科学の接点」、清水博との往復書簡、清水博「へのい

ち」の普遍学」、二〇一三年七月三十日所収、七九〇八五

頁、九一〇九七頁、一〇四〇一〇〇頁、一一九〇一二五頁、

一三二一〇一三八頁

「いのちの深みへ―仏教の立場から」、『ライフサイエンス』第

五四号、公益社団法人生命科学振興会、二〇一三年七月、

一一〇二五頁

「セツションNo.4の発表に対するコメント―道元部会 コメン

ト」、日本仏教学会編『信仰とは何か(二)―仏弟子とい

うこと』、平楽寺書店、二〇一三年八月二十日、二二九〇

二四四頁

〈学会発表等〉

「仏教といのち」、東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イ

ニシアティ (IIEPP)・茨城大学地球変動適応科学研究機構

(ICAS) 共催国際セミナー「いのちと自然の尊さについて考

える」、二〇一三年三月十六日、東洋大学白山校舎六号館三

階六三二七教室

「親鸞の仏身・仏土論―報身・報土の問題を中心に」、武蔵野大

学仏教文化研究所研究会、二〇一三年三月二十二日、武蔵野

大学有明キャンパス一号館一三階A会議室

「現代社会と哲学する心」、東洋大学井上円了哲学塾開設記念特

別シンポジウム「地球社会の未来と哲学の課題」、井上円了

哲学塾の「趣旨説明」も担当、パネル・ディスカッション(村

上陽一郎・竹内整一・吉田善一・私)のコーディネートも

務める。二〇一三年六月二十九日、井上円了ホール(東洋大

学白山キャンパス五号館)

「共生ということと仏教の課題」、上智大学ヨーロッパ研究所

主催「日本とヨーロッパを結ぶ「共生」の思想―宗教、哲

学、環境思想、言語学の側面から考える」、二〇一三年十一



月十六日、上智大学中央図書館「八二一会議室」。

「能と禪―世阿弥を中心に」、ストラスブル大学日本学  
科・アルザス欧州日本学研究所・東洋大学主催「世阿弥生誕  
六五〇年記念国際研究会」、二〇一三年十一月二十八日、フ  
ランス・コルマール市内。

「近年の高等教育の動向について―人間力育成重視と仏教の  
役割」、日本仏教育学会第二二回学術大会公開講演会、  
二〇一三年十二月七日、武蔵野大学有明キャンパス。

〈講演〉

「現代人にとっての仏教の意義」、同友クラブ「師を囲む会」、  
平成二十五年二月例会、二〇一三年二月十九日、同友クラブ  
（千代田区丸の内、パレスビル五階）

「井上田了の思想について」、第六八八回『仏教文化講座』、金  
龍山浅草寺主催、二〇一三年三月二十七日、新宿明治安田生  
命ホール（東京・新宿駅西口）

「いのちの深みへ―仏教の立場から」、公益社団法人生命科学振  
興会40周年記念講演会、二〇一三年四月二十六日、上野精養  
軒

「井上田了の人と思想」、東洋大学講師派遣事業講演会「札幌、  
二〇一三年六月二日、札幌コンベンションセンター・小ホー  
ル

「私の『法華経』観―「譬喩品」を中心として」、天台宗布教  
師会関東信越地区協議会平成二五年度布教研修会、二〇一三

年六月六日、ホテル国際二一（長野市）

「共生思想と仏教の可能性」、経営ビジョン構想懇話会、公益財  
団法人日本生産性本部主催、二〇一三年六月十一日、ロイヤ  
ルパークホテル（東京都・水天宮）

「日本人の哲学―空海から西田へ」、筑波大学特別講義、  
二〇一三年六月十二日、筑波大学学生会館

「良寛さまと禪の心」、かわさき市民アカデミー2013年度前期  
人間学コース「林住期を生きる―現代日本人の「ころろ」の  
のち」の問い方」講座、特定非営利活動法人「かわさき市民  
アカデミー」、二〇一三年七月四日、川崎市生涯学習プラザ  
三階（川崎市中原区）

「井上田了の人と思想について」、東洋大学浦水会茨城支部平成  
二十五年度第四五回通常総会、二〇一三年七月七日、ホテル  
マロウド筑波（土浦市）

「井上田了の人と思想」、東洋大学講師派遣事業講演会「郡山、  
二〇一三年七月二十八日、ビッグパレットふくしま・中会議  
室（福島県郡山市）

「良寛さまの『法華讃』」、富山良寛会要請による東洋大学講師  
派遣事業、二〇一三年八月十日、パレブラン高志会館（富山  
市千歳町）

「井上田了の実践哲学」、井上田了哲学塾、二〇一三年九月  
二十八日、白山キャンパス「B111」

「井上田了の人と思想」、東洋大学文化講演会「姫路、二〇一三

年十月十九日、姫路

「哲学としての仏教について」、第三回哲学カフェ、二〇一三年十一月二十一日、サロンド富山房フォリオ(千代田区神保町)「良寛さまの禅の心」、東京良寛会三〇周年記念の会、二〇一三年十一月二十四日、学士会館二〇二号室

「東洋大学の現状と課題―創立一二五周年を機に」、私大連金曜会、二〇一三年十二月十三日、東洋大学白山校舎八号館  
一二五記念ホール

「共生思想について―仏教の立場から」、清瀬白山会、二〇一三年十二月十四日、清瀬市アミューホール

「大乘仏教のこころ」、平成二十五年度豊山教職員連盟研修会、二〇一三年十二月十八日、護国寺(東京都文京区)

「大乘仏教のこころ」、祖典輪読会(高野山真言宗)、二〇一三年十二月二十六日、太融寺(大阪市北区)

〈特別講義〉

「井上円了の人と思想について」、理工学部「エンジニアのための哲学」授業、二〇一三年七月二十二日

板倉キャンパス特別講義「井上円了の人と思想」、二〇一三年十一月十三日

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会(評議員)／日本宗教学会(理事)／比較思想学会(理事)／仏教思想学会(理事)／東方学会(会員)

／共生社会システム学会(理事)

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学「エコ・フィロソフィ」学際研究イニシアティブ(TIEPh)・自然観探究ユニット代表者

東洋大学国際哲学研究センター(センター長・村上勝三「東洋大学」)第一ユニット研究員

国際井上円了学会会長

○教育活動

〈学内担当科目〉

大学院：日本仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅲ(前期課程)

仏教学特殊研究Ⅳ・仏教学研究指導Ⅲ(後期課程)

○大学管理運営活動・研究員等

学長 理事／井上円了記念学術センター所長／東洋大学東洋学

研究所研究員／東洋大学国際哲学研究センター研究員

沼田 一郎

○研究活動

〈論文〉

「インド古代法における「寄託」概念について―Arhasasraの

例から―」(単著、『東洋学論叢』第三八号)〔東洋大学文学

部紀要〕第六六集、二〇一三年三月三十日、六八―四七九

〈学外活動〉

所属学会ならびに役職

日本南アジア学会（会員・英文叢書委員会委員・監事）／日本  
印度学仏教学会（会員）／日本佛教学会（会員）／アジア法  
学会（会員）／国際井上円了学会（会員）／  
研究発表・シンポジウム・講演・特別講義

「ダルマ文献における「寄託」規定」（日本印度学仏教学会第  
六四回学術大会、第一部会、二〇一三年九月一日、島根県民  
会館）

〈研究・調査活動〉

「インドの死生観について実地調査」二〇一三年九月十二日  
～二十一日、インドカルナータカ州シユリンゲーリ、マッ  
トゥールなどで、死生観について聴き取り調査を行う。

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学国際哲学研究センター（センター長・村上勝三「東洋  
大学」運営委員・第二ユニット研究員

東洋大学東洋学研究所研究プロジェクト「インドの死生観の研  
究―聖典・聖地・都市構造にみるインドの死生観」研究分担者。

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・サンスクリット文献を読むA・B（I部）

古代インドの社会（I部）

インド学仏教学演習①（I部）

インド学仏教学演習（II部）

インド古典哲学（II部）

東洋思想文化への誘いA（I部・II部、春学期）二回  
担当

「古代インド社会論入門―カースト社会における在  
家と出家」（五月二十二日、一時限／六月二十九  
日、六時限）

東洋思想文化への誘いB（I部・II部、秋学期）二回  
担当

「ヒンドゥー文化入門―インド文化は哲学のみにあ  
らず」（十月二十六日、六時限／十月三十日、一  
時限）

宗教をめぐる諸問題B（I・II部乗り入れ）二回担当  
「ヒンドゥー教における聖者①」（十月十九日）

「ゾロアスター教における聖者」（十一月十六日）

全学総合IA一回担当

「古代インドにおける実践倫理」（七月四日）

○大学管理運営活動・研究員等

東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員／東洋大学東洋学研  
究所『東洋学研究』編集委員／国際哲学研究センター運営委員・  
研究員／文学部予算委員会委員／文学部カリキュラム委員会  
委員

○社会的活動

公開講座「インド哲学における「こころ」と「からだ」（東洋  
大学生涯学習センター公開講座・エクステンション学習講座

B〈東洋思想への誘い―東洋思想・文化における「こころ」と「からだ」―〉二〇一三年六月一日、東洋大学白山キャンパス)

模擬講義(夢ナビライブ)「アジア文化のタテとヨコ―歴史と文化の交錯点―」(二〇一三年六月八日 京都みやこめっせ、二〇一三年十一月九日 ツインメッセ静岡)

「アジア文化についての模擬講義」(二〇一三年十二月十八日 錦城高等学校)

野間 信幸

○研究活動

〈論文〉

「張文環文学の原郷―出水坑から考える―」(単著、『東洋大学中国哲学文学科紀要』第二号、二〇一三年三月二十三日、一三三―一六八頁)

〈その他〉

「『東洋大学 中国哲学文学科紀要』の終刊にあたって」(東洋大学 中国哲学文学科紀要』第二号、二〇一三年三月二十三日、三二九―三三一頁)

「太田先生の思い出」(『中国文芸研究会会報』第三七六・三七七合併号、六―八頁、二〇一三年三月三十一日)

「第八分科会 報告」(『日本台湾学会ニュースレター』第二五号、二〇一三年十二月、八―九頁)

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会(会員)／日本台湾学会(学会報編集委員)／天

理台湾学会(理事)／日本現代中国学会(会員)／東洋大学

中国学会(理事)／中国文芸研究会(会員)

学会参加等

日本台湾学会第一五回學術大会・第八分科会座長(広島大学、

二〇一三年五月二十六日)

天理台湾学会第二三回研究大会・午後の部第三研究発表の司会

(天理大学、二〇一三年六月二十九日)

〈研究・調査活動〉

「作家鍾理和の事績調査」、二〇一三年九月三日―八日、美濃・

屏東廣興(台湾)にて調査

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部…中国文学史概説

中国文学演習Ⅰ

中国文学特講Ⅰ

中国現代文学史概説

総合ⅧBⅠ(校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋

学期)一回担当

「円了の台湾巡講―南船北馬2(台湾巡講)」十月

二十四日

東洋思想文化への誘い A (I部・II部、春学期) 二回  
担当

「中国文学入門―中国語と中国文学の深い関係」(五月十五日、一時限/六月八日、六時限)

東洋思想文化への誘い B (I部・II部、秋学期) 二回  
担当

「中国現代文学入門―近代文化人の傷痕」(十月二十三日、一時限/十月十九日、六時限)

近代化と東洋 (I・II部乗り入れ、秋学期) 一回担当  
「近代の台湾文学―東洋大学に在籍した作家張文環の生涯」(十一月二十日)

大学院・中国文学特論Ⅰ・中国哲学研究指導Ⅱ(前期課程)

中国哲学特殊研究Ⅰ・中国哲学研究指導Ⅰ(後期課程)

○大学管理運営活動・研究員等

文学部入試委員会委員/校友会学生研究奨励基金運営委員会委員/東洋大学アジア文化研究所研究員

○社会的活動

アジアセンター21維持会員

橋本 泰元

○研究活動

〈論文〉

「スィーク (Sick) 教研究―序」(単著、『東洋学論叢』第三八号

「東洋大学文学部紀要」第六六集、二〇一三年三月三十日、  
一一七～一三六頁)

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本印度学佛教学会(理事)/日本宗教学会(会員)/日本南

アジア学会(会員)/日本佛教学会(会員)

〈研究・調査活動〉

「南インドにおけるシュリー・ヴァイシュナヴァ派の実地調査」、

二〇一三年九月二日～九月九日、南インドのアーンドラ・プ

ラーデーシュ州およびタミル・ナードゥ州にあるシュリー・ヴァ

イシュナヴァ派の寺院の実地調査。

〈研究プロジェクトへの参加〉

「インドの死生観の研究―聖典・聖地・都市構造にみるインド

の死生観」(東洋大学東洋学研究所プロジェクト・井上円

了研究助成二〇一三年度～二〇一五年度・研究代表者)

「多言語重層構造をなすインド文学史の先端的分析法と新記述」

(二〇一三年度科学研究費補助金「基盤研究(A)」研究代表

者・水野善文「東京外国語大学」連携研究者)

東洋大学国際哲学研究センター(センター長・村上勝三「東洋

大学」第三ユニット研究員

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・インドの宗教 A・B (I・II部)

ヒンドゥー教とは何か(春学期)(I部)

インド学仏教学演習③(I部)

仏教の芸能(秋学期、コディネーター)(II部)

宗教をめぐる諸問題A・B(I・II部乗り入れ)

「ヒンドゥー教における聖者」②(中世)(十一月十六日、六時限)

「スイク教と聖者」(十一月二十日、六時限)

東洋思想文化への誘いA(I部・II部、春学期)二回担当

「叙事詩の語る世界観」(七月三日、一時限/七月十三日、六時限)

東洋思想文化への誘いB(I部・II部、秋学期)二回担当

「ヒンドゥー教の根本思想」(十二月十八日、一時限/十二月二十一日六時限)

文学部伝統文化講座「聲明講演」(六月一日主催)総合ⅧB1(校友会寄附講座、I・II部乗り入れ、秋学期)一回担当

「哲学館初期のカリキュラムの特色」哲学を如何に教育するのか(七月十三日、五時限)

大学院：インド哲学研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅲ(前期課程)

インド哲学特殊研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅱ(後期課程)

〈学外担当科目〉

大正大学学部・ヒンディー語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(総合)

○大学管理運営活動・研究員等

東洋大学東洋学研究所所長/東洋大学国際哲学研究センター研究員/学科・専攻内選書委員

○社会的活動

団体役員等

(特財)大法輪石原育英会評議員

宮本 久義

○研究活動

〈論文〉

「聖地における祖先供養『トリスタラーセートウ』三六八、

四〇五の和訳と註解」(単著、『東洋学論叢』第三八号)〈東

洋大学文学部紀要』第六六集、二〇一三年三月三十日、

一四七～一七〇頁)

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本南アジア学会(常務理事)/日本印度学仏教学会(評議員)

/日本宗教学会(会員)/日本佛教学会(会員)/建築史学

会(会員)/早稲田大学東洋哲学会(理事)

〈研究・調査活動〉  
「インド西部のヒンドゥー教聖地調査」二〇一三年三月十日)

十八日、ピーマーシャンカル寺院、グリシユネーシユワル寺院、トリアンバケーシユヴァル寺院において、ヒンドゥー教聖地巡礼の実態調査を行う

「イランにおける多文化共生研究集会参加及び宗教実態調査」、二〇一三年十月二十九日～十一月六日、イラン・テヘランにて研究集会参加、シーラーズ、ヤズド、イスファハーンにて現地調査を行う

「インド東部のヴァイディヤナート、ガヤー等聖地調査」二〇一三年九月八日～十八日、ヴァイディヤナート寺院、及びガヤーの寺院において、ヒンドゥー教聖地巡礼の実態調査を行う

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学国際哲学研究センター（センター長・村上勝三「東洋大学」）第三ユニット「課題・多文化共生社会の思想基盤研究」に所属し、南アジアにおける多文化・多宗教共生の研究を行う

「多言語重層構造をなすインド文学史の先端的分析法と新記述（科学研究費・基盤A）」（連携研究者、代表・水野善文「東京外国語大学」）古典文学研究班に所属しサンスクリット文学の研究を行う

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・インド古典哲学A・B（I部）

インド現代思想（II部）

現代のインド（II部）

ヨーガとアーユルヴェーダ（I部）

インド学仏教学演習②（I部）

全学総合IA「エコ・フィロソフィ入門」（I・II部  
乗り入れ）一回担当

「ガンジス川をめぐるインドの環境問題」（二〇一三

年十二月十九日）

全学総合IA②「哲学への誘い」（I・II部乗り入れ）

一回担当

「ヨーガにおける心と身体」（二〇一三年六月十三日）

全学総合IIA「妖怪学」（I・II部乗り入れ）一回

担当

「インドにも百鬼夜行」（二〇一三年六月十一日）

東洋思想文化への誘いA（I部・II部、春学期）二回

担当

「インド思想入門Iーヴェーダの宗教と思想」（四月

二十四日、一時限／四月二十七日、六時限）

東洋思想文化への誘いB（I部・II部、秋学期）二回

担当

「インド思想入門2ーインド哲学はなにを目指すか」

（二〇一三年十月二日、一時限／九月二十八日、

六時限）

東洋の身体論（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）一回担当

「インド哲学における身体観」（二〇一三年四月十七日、七時限）

近代化と東洋（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）一回担当

「近代化とインドの伝統思想」（二〇一三年十月二日、七時限）

宗教をめぐる諸問題B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）二回担当

「ヒンドゥー教とは何か」（二〇一三年十月二十六日、六時限）

「ヒンドゥー教における聖者②（近代化）」（二〇一三年十一月二十三日、六時限）

大学院・サンスクリット文献研究Ⅰ・インド哲学研究指導Ⅰ（前期課程）

インド哲学特殊研究Ⅰ・インド哲学研究指導Ⅰ（後期課程）

〈学外担当科目〉  
専門語学「サンスクリット語」国際仏教学大学院大学（通年）

○大学管理運営活動・研究員等

大学院文学研究科長／大学院自己点検・評価委員会委員／校友会

学生会研究奨励基金運営委員会委員／井上円了記念研究助成

金運営委員会委員／東洋大学東洋学研究所研究員／東洋大学

国際哲学研究センター研究員・副センター長・第三ユニット  
長／教職課程運営委員会オプザーバー

○社会的活動

公開講座「ヨーガにおける「こころ」と「からだ」（東洋大学  
生涯学習センター公開講座・エクステンション学習講座B（東

洋思想への誘い―東洋思想・文化における「こころ」と「か  
らだ」―」（二〇一三年六月八日、東洋大学白山キャンパス

講演「テーマパークとしてのヒンドゥー教聖地」東京大学仏教  
青年会公開講座、二〇一三年十月二十四日、東京大学仏教青  
年会会館

（財）東京大学仏教青年会評議員

山口 しのぶ

○研究活動

〈論文〉

「グシユメーシユヴァアラ・ジヨーティルリンガの縁起譚―「シ  
ヴァ・プラーナ」第四巻

『コーティ・ルドラ・サンヒター』第三章和訳―『東洋学論叢』  
第三八号（『東洋大学文学部紀要』第六六集）二〇一三年三  
月三十日、一〇四―一〇六頁。

〈学芸活動〉

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会（会員）／日本宗教学会（会員）／南アジア  
ア学会（会員）／日本佛教学会（会員）／日本西蔵学会（会員）  
／密教図像学会（会員）／東海印度学仏教学会（会員）／パー



リ学仏教文化学会（会員）

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学国際哲学研究センター（センター長・村上勝三「東洋大学」第三ユニット研究員

東洋大学東洋学研究所プロジェクト・東アジアにおける仏教の

受容と変容」（研究代表者・渡辺章悟）研究分担者

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・インド学仏教教学演習⑧（Ⅰ部）

インド学仏教教学演習（Ⅱ部）

チベット文献を読むA・B（Ⅰ部）

東洋思想文化への誘いA（Ⅰ部・Ⅱ部、春学期）Ⅱ部

コーディネーター

「ガイダンス コース説明（インド等）」（四月十三日、

六時限／四月十七日、一時限）

「東洋芸術文化入門Ⅰ―仏教・ヒンドゥー教の美術」

（六月一日、六時限／六月十九日、一時限）

東洋思想文化への誘いB（Ⅰ部・Ⅱ部、秋学期）一回

担当

「ガイダンス」（九月二十一日、六時限）

「東洋芸術文化入門Ⅱ―東南アジアの芸術文化」

（十一月二十七日、一時限／十一月三十日、六時

限）

「コース選択のためのガイダンス・希望聴取」（十二

月四日、一時限／十二月七日、六時限）

チベット仏教のあゆみ（Ⅰ部）

インド美術を見る（Ⅱ部）

総合ⅢB「東洋大学井上円了哲学塾―実践哲学講座」

（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

近代化と東洋（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期）一回担当

「近代化とチベット」（十月十六日、七時限）

宗教をめぐる諸問題A・B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

「チベット仏教とは何か」（五月十八日、六時限）

「チベット仏教における聖者」（五月二十五日、六時

限）

総合ⅧB1（校友会寄附講座）「日本の近代化と東洋

大学―井上円了の哲学と実践―」（Ⅰ・Ⅱ部乗り入

れ）一回担当

「哲学館からチベットへ―明治の取経僧・河口慧海

と能海寛」（十一月十六日、五時限）

全学総合IA1「哲学への誘い」（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

一回担当

「世界と自己―密教のマンダラにおける世界と自己」

（二〇一三年五月十六日）

大学院・大乘仏教研究Ⅱ・仏教学研究指導Ⅱ（前期課程）

仏教学特殊研究Ⅱ・仏教学研究指導Ⅱ（後期課程）

○大学管理運営活動・研究員等

第二部東洋思想文化学科学科長／東洋大学東洋学研究所研究員  
／東洋大学アジア文化研究所研究員／東洋大学国際哲学研究  
センター研究員

○社会的活動

東洋大学井上円了哲学塾コーディネーター（二〇一三年九月  
二十一日～十二月二十一日、東洋大学白山キャンパス）  
公開講座「密教における心と身体―仏・マンガラ・自己」（東  
洋大学生涯学習センター公開講座・エクステンション学習講  
座B〈東洋思想への誘い―東洋思想・文化における「こころ」  
と「からだ」―〉、二〇一三年五月二十五日、東洋大学白山キャン  
パス）

山田 利明

○研究活動

〈編著〉

『エコロジーをデザインする』春秋社、（編著者・稲垣諭・河本  
英夫・山田利明）二〇一三年三月

〈論文〉

「謫仙の構造」、『中国哲学文学科紀要』二二号、東洋大学文学部、  
二〇一三年三月十日、四五～五九頁  
「価値を生む思想」、『エコロジーをデザインする』、春秋社、  
二〇一三年三月八日、一〇一～一一三頁

〈その他〉

「南方熊楠のエコロジー」、「ニュース・レター」東洋大学エコフイ  
ロソフイー学際研究イニシアティブ、一六号、二〇一三年七  
月

「シンポジウム『南方熊楠：神と自然』」、「ニュース・レター」  
東洋大学エコフイロソフイー学際研究イニシアティブ、一七  
号、二〇一三年十一月

「蓄財」、「サステナ」三〇号、東京大学サステナビリティ連携  
機構、七八～七九頁、二〇一三年七月

「渭城の朝雨」、「サステナ」三二号、東京大学サステナビリティ  
連携機構、一五二～一五三頁、二〇一三年十月

〈講演〉

「日本における『老子』の受容」、財団法人日本タオイズム協会  
（福岡県英彦山）、二〇一三年十一月三日

〈学会活動〉

所属学会・役職

日本中国学会（評議員）、日本道教学会（会長）、日仏東洋学会  
（会員）、The Society for the Study of Chinese Religion（会員）

〈研究プロジェクト〉

東洋大学エコフイロソフイー学際研究イニシアティブ（機構長）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：中国哲学演習Ⅰ

中国哲学特講Ⅱ  
中国哲学史概説

総合Ⅰ

東洋思想文化への誘いA（Ⅰ部・Ⅱ部、春学期）二回  
担当

「中国哲学入門―天の思想と人のあり方」（五月一日、  
一時限／五月十一日、六時限）

東洋思想文化への誘いB（Ⅰ部・Ⅱ部、秋学期）二回  
担当

「道家哲学入門―無と自然」（十月五日六時限／十月  
九日一時限）

東洋の身体論（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期）一回担当  
「道教の身体観」（七月七日、七時限）

大学院・中国哲学特殊研究Ⅴ

中国哲学研究指導Ⅴ（以上後期課程）

中国哲学演習Ⅰ

中国哲学研究Ⅰ

中国哲学研究指導Ⅳ（以上前期課程）

○大学学部管理運営

卒業生・浦水会連携室室長、大学院中国哲学専攻長、

○社会的活動

一般社団法人サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム  
理事

公開講座「中国の思想と文化 現代中国と道教」（東洋大学

生涯学習センター公開講座・エクステンション学習講座B

「東アジア」へのまなざし―その思想と文化―、二〇一三

年六月十五日、東洋大学白山キャンパス）

渡辺 章悟

○研究活動

〈著書〉

「般若経の形成と展開」「智慧・世界・ことば―大乘仏典Ⅰ」第

二章（シリーズ大乘仏教・第四卷）（春秋社、二〇一三年五月、

一〇一～一五三頁）

〈論文〉

「般若経の三乗思想」（単著、『東洋大学文学部紀要』インド哲

学科篇、第六六集（『東洋学論叢』第三八号）、二〇一三年三

月、一三七～一四六頁）

「金剛般若経」の則非の論理」（単著、『財団法人 松ヶ岡文庫

研究年報』第二七号、二〇一三年三月、四三～五三頁）

〈学会発表・特別講義〉

「井上田了が受けたカルチャーショック」東洋大学校友会寄附

講座、東洋大学白山校舎、二〇一三年七月十四日

「奮闘哲学」東洋大学校友会寄附講座、東洋大学白山校舎、

二〇一三年十二月二十一日

「般若心経の世界」（東洋思想文化への誘い―東洋思想文化にお

ける心とからだ」東洋大学エクステンション講座、東洋大学白山校舎、二〇一三年十一月三十日

「大乘仏教はブツダの説なのか」(東洋思想文化への誘い、I A、東洋大学白山校舎、二〇一三年七月十日)

「般若経の三乗における菩薩乗の意味」(印度学仏教学会第六四回学術大会、於島根県民会館、島根県松江市、二〇一三年九月一日)

〈講演〉

「大乘仏教の精神と般若心経」(東京国際仏教塾、東京大学仏青会館、二〇一三年六月一日)

「般若心経の世界」涅槃会講演(川越仏教会主催、川越市・蓮馨寺、二〇一三年十二月七日)

「絵心経の伝承とその意義」黄檗勉強会、黄檗宗海福寺・東京都目黒区、二〇一三年十月二十一日

〈翻訳〉

「お経の真意―般若心経・観音経の現代語訳」(「神仏参拝の由来と作法がわかる本」新人物往来社、二九六〜三〇六頁、二〇一二年十二月)

〈その他〉

「校友会寄附講座」(「校友会会報」二五七号、二〇一三年十一月一日、東洋大学校友会、一四頁)

「般若心経」から見た観自在菩薩と空」(「佛敎文化」第一五八号、一三〜一九頁、東京国際仏教塾、二〇一二年八月十日)

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会(理事・常務委員・評議員・企画編集委員)／仏敎思想学会(理事・評議員)／日本西蔵学会(委員)

／東方学会(地区委員)／日本宗敎学会(評議員)／日本佛敎学会(会員)／東アジア仏敎学会(会員)／国際仏敎学会 IABS(会員)／比較思想学会(会員)

学会参加等

仏敎思想学会第二九回学術大会、駒澤大学深沢キャンパス、二〇一三年七月六日(理事会・研究発表会(司会)に参加)

日本印度学仏敎学会第六四回学術大会に参加、公益財団・法人中村元東方研究所・s松江、二〇一三年八月三十一日〜九月一日(常務委員・理事として常務委員会・理事会にも参加)

〈調査活動〉

「山形県・慈恩寺一切経会の調査」二〇一三年五月四日〜六日、「山口県・阿弥陀寺、国分寺、赤間神宮等の心経関係の資料調査」

二〇一三年七月二三日〜六日

「京都・大阪十三仏巡礼の調査」二〇一三年十二月二十六日〜二十九日

〈研究プロジェクトへの参加〉

東洋大学国際哲学研究センター(センター長・村上勝三「東洋大学」第三ユニット「課題・多文化共生社会の思想基盤研究」)に所属し、仏敎を中心とした多文化・多宗敎共生の研究

究を行う。

東洋大学東洋学研究所プロジェクト・東アジアにおける仏教の

受容と変容」(研究代表者)

「仏教用語の『日英基準訳語集』構築に向けての総合的研究」(文科省科学研究費「基盤研究(A)」)、研究代表者・斎藤明「東  
京大学」、研究分担者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・ブツダの思想とその展開A・B (I・II部)

大乘仏教の思想I (II部)

インド学仏教学演習④ (I部)

インド学仏教学演習 (II部)

文学部総合科目I (I・II部共通)

東洋思想文化への誘いA (I部・II部、春学期) 二回  
担当

「大乘仏教入門I―大乘仏教はブツダの説なのか」

(七月十日、一時限/七月二十日、六時限)

東洋思想文化への誘いB (I部・II部、秋学期) 二回

担当

「大乘仏教入門2―大乘仏教を貫くもの」(二〇一四  
年一月八日、一時限/二〇一四年一月十一日、六  
時限)

宗教をめぐる諸問題A・B (I・II部乗り入れ) 二回

担当

「大乘仏教とは何か」(四月二十日、六時限)

「大乘仏教における聖者」(五月十一日、六時限)

総合ⅣA・B1(校友会寄附講座、I・II部乗り入れ、  
秋学期) 運営責任者ならびに六回の授業担当

「井上円了は何を目指し、何を實現しようとしたか  
―その生涯と実践」(四月十四日、五時限)

「井上円了が受けたカルチャーショック―円了は海  
外で何を見、何を考えたのか」(七月十四日、  
五時限)

「春学期講義のまとめ・通常試験」(七月二十五日、  
五時限)

「哲学館から東洋大学へ」(九月二十九日、五時限)

「井上円了の生涯をかけた熱き戦い―最後の著作『奮  
闘哲学』による」(一月五日、五時限)

「講座のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

「講義のまとめ・平常試験」(一月十九日、五時限)

仏教学特殊研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅰ（博士後期課程）

〈学外担当科目〉

大正大学大学院「MD 仏教学特論 A・B」春学期・秋学期

国際仏教学大学院大学「仏教学と環境問題」

秋学期集中講義

○大学管理運営活動・研究員等

東洋大学学生生活委員会（委員）／東洋大学東洋学研究所（運

営委員・研究所員・『東洋学』編集委員）／東洋大学国際哲

学研究センター研究員／大学院文学研究科インド哲学仏教学

専攻長

○社会的活動

（公財）仏教伝道協会・英訳大藏経編集委員会（委員）・仏教聖

典編集委員会（委員）・助成金審査委員会（委員）／（般財）

東方学会（地区委員・会員）／（公財）東方研究会（研究員）

／（特財）大法輪石原育英会奨学生選考委員会（委員）／（般

財）仏教学術振興会（評議員）／東洋大学仏教会（会長）

## 二〇一三年度開講科目

### インド哲学科

・授業名、サブタイトル、担当者の順に記す。

・二〇〇九年度以降の新カリキュラムと二〇〇八年度以前の旧カリキュラムの間で、授業の名称に変更があったものについては、新カリキュラムの名称を掲載した。

・通年科目はA（春学期）・B（秋学期）に分かれるが、担当者が同一であり、かつ、サブタイトルが春秋通じて同一の場合、その区分は省略して記した。

・ただし、半期だけの授業については《春》《秋》と表記した。

・担当者および《春》《秋》の授業区分に付したカッコ内の数字は、それぞれⅠ部・Ⅱ部の区別を示す。カッコが付されていないものは、Ⅰ部Ⅱ部隔年開講の科目か、Ⅰ部・Ⅱ部の担当者が同一であることを示す。

### 〈学部〉（五十音順）

イスラーム概論《秋》（イスラームのとらえ方） 柴山 滋

インド現代思想《春》（インド近・現代の宗教思想家）

宮本久義（Ⅰ）

インド古典哲学（インド思想史） 宮本久義（Ⅰ）

インド古典哲学（インド古典哲学概説）《春》 沼田一郎（Ⅱ）

インド古典哲学（インド古典哲学の諸課題）《秋》

インド哲学仏教学演習①（インド古代社会・文化の基礎） 沼田一郎（Ⅱ）

インド哲学仏教学演習②（インド思想研究） 沼田一郎（Ⅰ）

インド哲学仏教学演習③（中世ヒンドゥー教思想研究） 宮本久義（Ⅰ）

インド哲学仏教学演習④（インド大乘仏教の研究） 橋本泰元（Ⅰ）

インド哲学仏教学演習⑤（初期仏教研究） 渡辺章悟（Ⅰ）

インド哲学仏教学演習⑥（道元『正法眼藏随聞記』を読む） 岩井昌悟（Ⅰ）

インド哲学仏教学演習⑦（道元『正法眼藏随聞記』を読む） 伊吹 敦（Ⅰ）

インド哲学仏教学演習⑧（インド・仏教における芸術文化の研究） 山口しのぶ（Ⅰ）

インド哲学仏教学演習⑨⑩（インド古代社会・文化の基礎） 沼田一郎（Ⅱ）

インド哲学仏教学演習⑪⑫（仏教学分野） 山口しのぶ（Ⅱ）

インドの芸能《春》（インド芸能の多様性―その中心と周縁） 小西公大（Ⅰ）

インドの宗教A（ヴェーダの宗教と反ヴェーダ的自由思想） 橋本泰元

インドの宗教B（反ヴェーダ的自由思想とヒンドゥー教諸思想の展開） 橋本泰元

インドの風土と文化《秋》（造形をめぐるインドの歴史と文化）

石川 寛 (II)

インド美術を見る《秋》(インド・ネパール・東南アジアのヒンドゥー美術) 山口しのぶ (II)

インド仏教のあゆみ A (釈尊の覚りとその展開) 岩井昌悟

インド仏教のあゆみ B (大乘仏教とは何か) 岩井昌悟

インド舞踊《秋》(インド舞踊バラタナーティヤムの実技と理論) 久保田幸

久保田幸

インド文学《春》(文学を通して見るインド文化) 宮本 城 (I)

インド文学《秋》(ヴェンディヤ山脈の頂きからインド文学を見る) 高橋孝信 (II)

高橋孝信 (II)

キリスト教概論《春》(キリスト教の誕生とその背景を思想的・歴史的にたどりながら、キリスト教の特徴を学ぶ。)

山中英美 (I)

山中英美 (I)

華嚴の思想《春》(華嚴経の思想と文化) 金本拓士

現代に生きる仏教《春》(現代の社会問題解決に積極的にかかわる「Engaged Buddhism」について、日本・東南アジア・米国などの仏教者の事例を学び、現代における自己および仏教の社会的役割を共に探求する)

戸松義晴

戸松義晴

現代のインド《秋》(インド近・現代の政治思想家) 宮本久義 (II)

宮本久義 (II)

古代インドの社会《春》(古代インド社会の構造と「法」概念の展開) 沼田一郎 (I)

沼田一郎 (I)

座禅《春》(こころの坐りによって、自己と向き合う) 篠塚純海

篠塚純海

サンスクリット文献を読む I (古典サンスクリット入門) 沼田一郎 (I)

沼田一郎 (I)

サンスクリット文献を読む II (実践サンスクリット中級) 渡辺章悟 (I)

渡辺章悟 (I)

サンスクリット文献を読む (古典サンスクリット初級文法) 渡邊郁子 (II)

渡邊郁子 (II)

写経《春》 張堂興昭

張堂興昭

宗教学 II A・II B (宗教文化の理解に向けて…宗教の不思議を考える) 石井研士 (I)

石井研士 (I)

宗教科教育論《春》(仏教と教育について) 成瀬良徳 (I)

成瀬良徳 (I)

宗教科指導法 I・II (「宗教科」の教育と指導) 成瀬良徳 (I)

成瀬良徳 (I)

宗教学間の差異と対話 A B (春学期は宗教学間の差異に焦点をあてる。まず、宗教学における理論を学ぶ。次に諸宗教の比較を行う。宗教は文化の基底であるが、西洋と東洋という視点だけでなく、神道や仏教など日本の諸宗教の違いにも目を向ける。秋学期は宗教学間の対話に焦点をあてる。宗教が多くの紛争と関わりを持ってきたことは事実である。宗教学間対話とは、国際社会がグローバル化の中で諸宗教がどうあるべきか模索することである。)

松野智章

松野智章

宗教学概論 A《春》(多様な教理と実践の世界) 島田茂樹

島田茂樹

宗教学概論 B《秋》(華麗なる文化と芸術の世界) 島田茂樹

島田茂樹

宗教をめぐる諸問題 A B (仏教など諸宗教における聖者とは) 岩井昌悟

岩井昌悟

《オムニバス形式》



初期仏教の思想《春》(すべては解脱のために)

岩井昌悟

禅の思想(禅思想の形成と社会との交渉)《春》

伊吹 敦

総合Ⅷ A B (日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践

―)(オムニバス形式)

渡辺章悟

卒業論文・製作

大乘仏教の思想Ⅰ《春》(空の世界に何があるのか)

渡辺章悟

大乘仏教の思想Ⅱ《秋》(唯識思想論)

橘川智昭

チベット仏教のあゆみ《春》

山口しのぶ

チベット文献を読む A (古典チベット語文法の学習)

山口しのぶ (Ⅰ)

チベット文献を読む B (『法華経普門品(観音経)』を読む)

山口しのぶ (Ⅰ)

中国仏教のあゆみ A (初伝期から南北朝まで)

伊吹 敦

中国仏教のあゆみ B (隋代から現代まで)

伊吹 敦

哲学概論(知は何を指したのか―西洋哲学と仏教―)

渡邊郁子 (Ⅱ)

天台の思想《秋》(天台の思想)

林 鳴宇

東南アジア仏教のあゆみ《春》(スリランカ及び東南アジア諸

国における上座仏教の国家的受容とその歴史の変遷過程、ま

た主要経典の概要把握)

藪内聡子 (Ⅰ)

東洋思想 A (東洋の倫理思想―チベットの倫理思想を中心とし

て―)

高田茂樹 (Ⅱ)

東洋思想 B (東洋の倫理思想―神秘主義(タントリズム)を中

心として―)

高田茂樹 (Ⅱ)

東洋思想文化への誘い A

小路口聡 (Ⅰ)

東洋思想文化への誘い B

山口しのぶ (Ⅱ)

東洋思想文化への誘い B

小路口聡 (Ⅰ)

東洋思想文化への誘い B

山口しのぶ (Ⅱ)

日本の思想(神仏習合思想の形成と展開(古代))

伊東 聡

日本の宗教を歩く《春》(思想と文化を体感しよう!)

岩井昌悟

日本仏教のあゆみ A B (日本の仏教を行学二道の視点より理解

する)

蓑輪顕量 (Ⅰ)

日本仏教のあゆみ A (日本における仏教のあゆみと社会・文化

―仏教伝来から鎌倉仏教(前半)まで―)

橘川智昭 (Ⅱ)

日本仏教のあゆみ B (日本における仏教のあゆみと社会・文化

―鎌倉仏教(後半)から明治時代以後の仏教まで―)

橘川智昭 (Ⅱ)

念仏の思想《秋》(念仏の思想の特性を理解する)

本多静芳

ヒンディー文献を読む A (ヒンディー語入門Ⅰ)

橋本泰元

ヒンディー文献を読む A (ヒンディー語入門Ⅱ)

橋本泰元

ヒンドゥー教とは何か《春》(ヒンドゥー教の特徴を探り理解

を深める)

橋本泰元

仏教と社会福祉《秋》(仏教の行ってきた社会福祉事業の歴史

的展開とその役割について検証し、現代に必要とされる仏教

的な社会福祉のあり方を共に考察する)

戸松義晴

仏教の芸能《秋》(仏教伝統歌謡の基本を学び実修してみよう)

〈オムニバス形式〉

橋本泰元

仏教文献を読むA (経典と注釈書を読む)

伊吹 敦 (I)

仏教文献を読むB (浄土教文献・禅文献、史伝を読む)

伊吹 敦 (I)

仏教文献を読むAB

佐藤 厚 (II)

ブツダの思想とその展開A (仏教とは何か)

渡辺章悟

ブツダの思想とその展開B (仏教の思想とその展開)

渡辺章悟

密教の思想《秋》(密教の思想と文化)

金本拓士

ヨーガとアーユルヴェーダ《春》(インドの叡智を探る)

宮本久義

ヨーガ《春》(実践をとおして思想を学ぶ)

番場裕之

〈大学院〉

博士前期課程

インド哲学研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅲ

橋本泰元

インド哲学研究Ⅲ 高橋孝信

サンスクリット文献研究Ⅰ・インド哲学研究指導Ⅰ

宮本久義

サンスクリット文献研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅰ

後藤敏文

初期仏教研究Ⅰ

池田練太郎

初期仏教研究Ⅱ

松村淳子

大乘仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅰ

渡辺章悟

大乘仏教研究Ⅱ・仏教学研究指導Ⅱ

山口しのぶ

大乘仏教研究Ⅲ

斎藤 明

中国仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅳ

伊吹 敦

日本仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅲ

竹村牧男

日本仏教研究Ⅱ

林田康順

博士後期課程

インド哲学特殊研究Ⅰ・インド哲学研究指導Ⅰ

宮本久義

インド哲学特殊研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅱ

橋本泰元

仏教学特殊研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅰ

渡辺章悟

仏教学特殊研究Ⅱ・仏教学研究指導Ⅱ

山口しのぶ

仏教学特殊研究Ⅲ・仏教学研究指導Ⅳ

伊吹 敦

仏教学特殊研究Ⅳ・仏教学研究指導Ⅲ

竹村牧男

中国哲学文学科

〈学部〉

中国哲学研究法

小路口 聡

中国文学研究法

坂井多穂子

中国学概論

小路口 聡

中国文献学概論

川崎ミチコ

中国哲学演習Ⅰ①

小路口 聡

中国哲学演習Ⅰ②

山田 利明

中国文学演習Ⅰ

野間 信幸

中国文献読解法

川崎ミチコ

中国文化史概説

中村 聡

中国文字学

坂本 頼之

中国哲学史概説

山田 利明

レポート・論文制作の技法（春）

川崎ミチコ

中国文学史概説

野間 信幸

漢文訓読法（秋）

川崎ミチコ

中国現代文学史概説

野間 信幸

基礎中国語A B

坂井多穂子

中国哲学演習Ⅱ

坂本 頼之

中国哲学演習Ⅲ

中村 聡

〈大学院〉

中 純夫

中国文学演習Ⅱ

坂井多穂子

中国哲学特論Ⅰ①（春・集中）

井川 義次

中国文学演習Ⅲ①

川崎ミチコ

中国哲学特論Ⅰ②（秋・集中）

（不開講）

中国文学演習Ⅲ②

坂井多穂子

中国哲学特論Ⅱ（前期）

（不開講）

中国哲学特講Ⅰ

小路口 聡

中国哲学特論Ⅲ（前期）

小路口 聡

中国哲学特講Ⅱ

山田 利明

中国哲学演習Ⅰ（前期）

山田 利明

中国文学特講Ⅰ

野間 信幸

中国哲学演習Ⅱ（前期）

小路口 聡

中国文学特講Ⅱ

川崎ミチコ

中国哲学演習Ⅲ（前期）

（不開講）

中国語学演習

馬 雪峰

中国哲学研究Ⅰ（前期）

山田 利明

日本漢学

坂本 頼之

中国哲学研究Ⅱ（前期）

（不開講）

中国哲学研究Ⅲ（前期）

（不開講）

（東洋思想文化学科開講科目）

小路口聡（代表）

中国文学特論Ⅰ（前期）

野間 信幸

東洋思想文化への誘いA B

坂井多穂子

中国文学特論Ⅱ（前期）

坂井多穂子

中国学研究法A B

坂本頼之

中国文学演習Ⅰ（前期）

有澤 晶子

漢文訓読法（春）

坂井多穂子

中国文学演習Ⅱ（前期）

竹下 悦子

基礎中国語A B

坂井多穂子

中国語学研究Ⅰ（前期）

（不開講）

（Ⅱ部）

山口しのぶ（代表）

中国語学研究Ⅱ（前期）

（不開講）

東洋思想文化への誘いA B

坂井多穂子

中国哲学研究指導Ⅰ（前期）

坂井多穂子

中国学研究法A B

坂井多穂子

中国哲学研究指導Ⅱ（前期）

野間 信幸

中国哲学研究指導Ⅲ（前期）  
中国哲学研究指導Ⅳ（前期）  
中国哲学研究指導Ⅴ（前期）  
中国哲学特殊研究Ⅰ（後期）  
中国哲学特殊研究Ⅱ（後期）  
中国哲学特殊研究Ⅲ（後期）  
中国哲学特殊研究Ⅳ（後期）  
中国哲学特殊研究Ⅴ（後期）  
中国哲学研究指導Ⅰ（後期）  
中国哲学研究指導Ⅱ（後期）  
中国哲学研究指導Ⅲ（後期）  
中国哲学研究指導Ⅳ（後期）  
中国哲学研究指導Ⅴ（後期）

小路口 聡  
山田 利明  
有澤 晶子  
野間 信幸  
有澤 晶子  
小路口 聡  
坂井多穂子  
山田 利明  
野間 信幸  
（不開講）  
小路口 聡  
（不開講）  
山田 利明

二〇一三年度卒業論文

インド哲学科卒業論文

〔I部〕

- 齊藤 拓馬 『ヴァイシエーシカ・ストトラ』における運動論  
今野 世菜 仏教における女性観について  
安齋 卓真 仏教における地震観  
吉野 駿太 初期仏教に於ける善友・悪友の研究  
中村 州輝 バラモン女性と女奴隷の立場に関する考察―「貞淑」「純潔」「姦淫」を中心に―  
菊間 信太郎 イギリス東インド会社がカースト制度に与えた諸影響考察  
秋本 拓哉 廃仏毀釈が起きたわけ  
金子 敬佑 日蓮の一念三千観  
勝山 辰也 日本におけるアニメや漫画ゲームに登場するインド神話  
遠藤 太地 インド思想における火の概念と循環思想  
梅田 愛子 『梵文維摩經―ポタラ宮所蔵に基づく校訂―』の第一章を読む―英訳訳を通して―  
佐藤 健 インドの近代化とガンディー主義  
加賀 智也 『今昔物語集』に見る地藏信仰  
河地 璃人 日本人にとっての仏像とは―仏像が日本人にもた

- 鈴木 洋志 ー  
松本 航 「死念」の研究  
興野 汐里 プルシヤの研究  
安田 保名美 マイスター・エックハルトにおける無と龍樹・世葬儀と葬儀会社  
坂本 達也 初期仏教における神通力  
堀田 尚平 『律蔵』における恐怖  
肥留川 拓也 バガヴァッド・ギーターの考察―yogi 体現者、その影響―  
小林 隆彰 古代インド仏教美術の展開について  
小暮 咲野 初期仏教における家族観  
多田羅 大地 ヨーガの身体論―柔道との関連をめぐって  
大木 英司 インドと日本における『ラーマヤナ』の伝承と変容  
目黒 見 シャンカラとブラフマンの人格的側面―主宰神―  
小林 祐太 シャンカラの二元論的思想についての一考察  
小鉄 裕子 ヤージュニャヴァルキヤの思想―今日、彼の思想は有用性を発揮しうるのか―  
篠原 由香里 初期仏教における過去仏  
賀集 桃子 現代における仏教者の取り組み―23の結びなおした新たなご縁―  
池尾 知恵 インドと日本の婚姻制度

小林 佑美 イスラーム―歴史とその美―  
 菅原 智史 良寛の人間像  
 麻生 拓篤 インド準備銀行の成り立ちと歴史  
 木村 衿子 良寛研究―良寛の乞食理由―  
 高柳 芳喜 朱印の成り立ちと変遷  
 梁島 さゆり 仏教における思想と精進料理  
 長谷川 溪 ヨーガ・スートラにおける心識論  
 住友 高作 日蓮の二つの浄土観について―娑婆浄土と靈山浄土―  
 井手 加奈絵 独立前後のインドの学校教育制度  
 佐藤 彩加 インド人女性が抱える社会問題―インド女性における歴史的悪習からの縛りと解放―  
 池田 国生 今を生きるための仏教―アメリカ仏教を参考として―  
 山梨 あかね シャーマンのこれから―チベット及びラダックのシャーマンの場合―  
 佐野 友城 井上円了の『妖怪学講義』より―妖怪とはどのようなものなのか―  
 杉崎 希望 初期仏教における釈尊と仏弟子の看病―釈尊の説法の特異性―  
 関田 駿 ムスリムのテロリズムに関する研究  
 小林 司 ガンジス川と人々の共生―恩恵と問題―  
 松田 正 『バガヴァッド・ギーター』における『マヌ法典』

の影響に関する考察―ヴァルナ・アーシユラマ体制を目指すバラモンの意図―  
 (Ⅱ部)  
 佐々木 淳哉 餓鬼の研究  
 田中 将登 富士山と浄土真宗―とくに勝沼万福寺を中心として―  
 永井 春香 終末期医療におけるビハラー活動の現状  
 針貝 京子 ヤクシャの研究  
 佐々木 麻知 伝統芸能とその在り方―バラタナーティヤムと能楽を中心に―  
 宮澤 美咲 伊勢の神宮―人々は何故伊勢神宮を訪れるのか―  
 中畝 紗里 「変身」から見るインドの研究  
 久保 頌太 インド憲法の研究  
 福井 雄大 ニヒリズムの超克―日本の自決を契機とした試み  
**大学院インド哲学仏教学専攻修士論文**  
 須藤 美喜子 ネパール・カトマンドゥ盆地におけるサントシマーター女神信仰に関する研究―女性信者の儀礼を中心として―  
 尾上 正和 『辯頭密二教論』の思想研究―「果分可説」の教義を中心に―  
 井 みお チベット語訳『正法念処経』における活地獄について

堤 博枝 ヒンドゥー教美術の構造原理—Alice Bonerの視点を中心に—

板敷 真純 存覚における初期真宗の再解釈—東国門徒を手がかりとして—

藤井 明 『降三世大儀軌』(Trailokyaṅgajayamahakaparāṅga)に於ける降伏思想の研究

林 明音 吉祥天の図像研究—仏典に述べられる儀礼と図像を中心として—

橋本 順正 天台浄土思想の研究—智顛と『観無量寿經』—

### 中国哲学文学科卒業論文

大熊 静香 『論語』に学ぶ—社会と個人—

横塚 智南 映画『ワンス・アポン・ア・タイム・イン・チャイナ』から見る歴史と侠の精神

沖 智子 孟子から学ぶ—善のまま生きていくために必要なこと—

田口 真吾 『正史』から読み取る諸葛亮孔明の軍略

坂井 愛美 張愛玲作品に見る悲しみの表現について

染谷 茜 唐代伝奇を題材とする日中作品比較研究

安藤 駿平 楊逵について—貫き通した精神と伝えたかったこと—

鈴木 大翼 魯迅文学作品研究—『呐喊』論—

尾藤 ゆかり 明清時代の婚姻から考える女性像—明を中心として—

中村 渉 封神演義の神話性について

藤崎 絢子 敦煌における社の役割

松岡 瑞季 巫蠱を中心に呪詛を考える

佐藤 郁佳 『論語』と洪沢栄—中国古典と日本人の関係とは—

駒田 昇平 王安石の新法と現代社会

我妻 茜 『詩経国風』の「終風」について—風の持つ意味から考察する—

岡地 法枝 『世説新語』賢媛篇から見る女性像

大河内 めぐみ 『陳夫人』から見る日本統治期の日台女性

石岡 志織 性善説の現代的応用—食糧廃棄について—

久保 考平 陽明学における現代的な享受の方法

池 理沙子 『黄帝内経』からみる中国の健康観

吉清 雅紀 『明夷待訪録』からみる黄宗羲の思想とその必然性

岡本 泉 宗教から生じる価値観の差異

大塚 明 饑餓について「忍びざる心」の観点から捉える

嶋田 ちひろ 白居易と茶について

木下 なつみ 仏教・道教における血盆経信仰と血穢思想の研究

岩崎 貴宏 日本統治下の台湾と周金波

石丸 詩織 『論語』から見る学びと読書

須藤 岳 『論語』における賢者認識について

福島 美穂 明代の山水画—文徵明・董其昌—

友光 勇気 アジアの歌姫テレサ・テンを通じて見る同時代の

台湾

願望

吉田 奈央 教科書から見る日台関係

小林 大泰 董其昌の芸術観の基礎となったもの

小菅多加美 「性善説」からみる現代社会

笠原 卓也 性善説と性悪説を考察する

花輪 洋輔 『荀子』の教育思想について

土屋 有華里 書聖の書―王羲之の書法と唐代の書家への影響―

清水 由貴 中国猫鬼の呪い

金子 太翼 関羽―奸絶に認められた義絶―

杉田 早希 琉球と中国―石敢當と龍神から見る信仰の相違―

菅谷 開 九尾の狐

太田 稔人 性善説から見るいじめ

小野 信子 五四運動期の中国の女性像について 莎菲女士的

日記と共に

菅野 健 前漢時代における道家思想の受容と展開

近藤 雅明 台湾料理から見る食文化

黒田 祐介 孟子の性善説と現代社会

竹内 隼平 文化大革命研究・巴金の「随想録」に則して

早川 大貴 『荀子』における「天」「礼」について

## 大学院中国哲学専攻修士論文

小島朋子 阮籍「詠懷詩」におけるへかわらざるものへへの



東洋思想文化 第1号

(東洋大学文学部紀要 東洋思想文化学科篇 第67集)

平成二十六年二月二十八日 印刷

平成二十六年二月二十八日 発行 [非売品]

発行所 東洋大学文学部

東京都文京区白山五―二八―二〇

電話 東洋思想文化学科〇三三五七三在

印刷 共立印刷株式会社

東京都杉並区和田一―一四―一三

電話 〇三―三三八二―二二一